



いじめ等不適切行為の撲滅について

1月8日(火)号の学校便りに載せたとおり、本校では全校体制で「いじめ」について考えているところです。お読みいただけたでしょうか。「理由があればいじめてもいい」「あの子が・・・だから」という考えから抜け出せない子どももおります。学校においても粘り強く指導をして参りますが、人をいじめていい理由などひとつも存在しないことを、改めて各ご家庭におかれましてはご指導くだされば幸いです。

いじめのない学校が理想ですが、中学生が601名おりますと中々「ゼロ」というわけにはいきません。教師が気付かなくてはならないのですが、お子様の様子等から少しでも心配な点がある場合には、ご遠慮なくお知らせくださるようお願いいたします。

糸井重里さんの「ボールのようなことば」には、次のような文章があります。鶴嶺中学校でもインクルーシブ教育を進めているところですが、多様性をマイナスに考えずに、多様性を認め合える人になってほしいと考えています。

学校にいるときには、同じような年齢の人と過ごすよね。でもさ、社会に出たら、あらゆる年齢の人たちが、混じり合って、一緒に仕事をしていくことになるんだよ。年齢も、境遇も、同じでない者同士が、「同じでないということを知って」いながら、同じ目的をもって生きていくなんで、学生ときには思いもよらなかったことだよなあ。年齢いろいろ × 境遇いろいろ = ものすごくいろいろ
この「いろいろ」の多様性を、マイナスに考えるんじゃなくて、だからすばらしいことができる！と思うのが、社会で働いていくということなんだよなあ。

地域の皆様ありがとうございます。

本校には「地域の伝言板」があります。鶴小区推進協の方が毎月、掲示をしてくださっています。今月は、下の写真のとおり、福笑いができるようになっており、また梅の花の飾りも季節感が漂っています。登下校の見守り等、いつも生徒を見守っていただいていることにも感謝しております。

また、職員・来賓用玄関には、家庭部(華道)の外部講師をお願いしている鈴木様が、いつも素敵な生け花を展示してくださっています。こちらも写真のとおり、今月はお正月らしい作品でした。ありがとうございます。15日にも「松が明けましたので・・・」とおっしゃって、生け替えてくださいました。ご来校の際には、ぜひ、お楽しみください。



生徒会本部役員による「朝の挨拶運動」

毎月一週間を挨拶運動期間として、正門や西門、太鼓橋付近で、生徒会本部役員が朝の挨拶運動をしています。この時期は、とても寒く7人の本部役員も大変ですが頑張っています。通り過ぎていく生徒もさわやかに挨拶を返してくれたり、笑顔で「がんばって！」と声をかけたりして元気をくれます。いつもは一人で正門に立っている私も大変心強く有難く思っています。事故のないことを願って、鶴小前の信号には教頭が、太鼓橋には菊地先生が立って、地域の皆様とともに登校指導をしています。

OCTOPUS = 「置くとパス」と「撫で牛」



3年生の受験（検）もいよいよ本格的に始まります。現在は公立高校、私立高校ともに願書指導や面接練習に余念がありません。体調管理に留意し、これまで培った力を精一杯発揮できるよう祈る日々が続いています。そんな折り、蛸を意味するオクトパスにかけて、「置くとパス」という蛸の置物を校長室前に置きました。気は心と言いますので、少しでも3年生の不安な気持ちが薄れて、全員がパス（合格）できたらいいなあと思っています。

また、今年は、北野天満宮の撫で牛も置きました。風邪に気をつけ、体調管理を万全にして本番に臨めることを願っています。各ご家庭では受験（検）生を抱え、今しばらく緊張の日々が続くと思われませんが、どうかサポートをお願いします。

張の日々が続くと思われませんが、どうかサポートをお願いします。

各学年の金賞作品は職員室前に掲示されています

